

HTML5 × 組み込みのメリット

山本 隆一郎

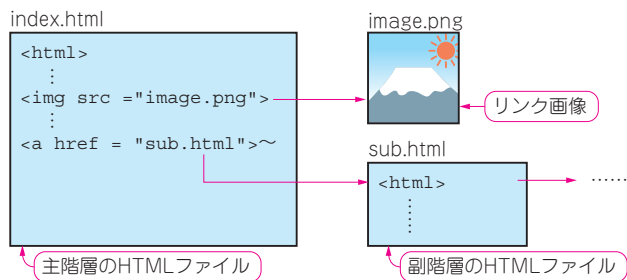


図1 HTMLはテキストや画像を階層構造で記述している

リスト1 HTMLファイルの例…構成や他のファイルへのリンクをタグの羅列で記述する

シンプルな例のため、文字コードのエンコード指定などは省いている

```

<html>
<head>
<title>タイトルです</title>
</head>
<body>
<p></p>
<h1>主見出しです</h1>
<p>簡単なHTMLの例です</p>
<a href="sub.html">リンクもできます</a>
</body>
</html>

```

● 背景1…最新HTML5は自作装置 (Webサーバ) 側の処理が軽くて済む

HTMLは、インターネットの世界で使われ、HTMLファイルやJavaScriptファイル、Flashなどを組み合わせるとリッチな画面が作れます。さらに、最新のHTML5を使えば、軽い処理でカッコいい画面で操作、表示できるようになります。

● 背景2…最近のブラウザ (Webクライアント) ではほぼ使える

HTML5は、HTML規格の5回目の改訂版で、規格策定団体W3Cより2008年1月22日にドラフト (草案) が発表されています。現在、2014年までの正式勧告を目指して策定が行われており、最近のWebブラウザであればほとんど解釈できます。

そこで本稿では、組み込み機器でHTMLや最新HTML5を使うメリットを紹介します。

おさらい…HTML

● インターネット上のWebページ作成に使う

HTMLは、HyperText Markup Languageの略で、Webページを作成して公開するために開発された言語です。

HTMLはインターネットの世界で標準技術として規格化されています。HTML規格は文書フォーマットHTMLファイルと文書テンプレートCSSで構成されています。

HTML規格は元々はCERN (欧州原子力研究機関) で開発されたシンプルな論文閲覧システムでしたが、現在、インターネット上で公開されているWebページのほとんどは、HTMLで作成されているといっても過言ではありません (ごく一部にテキストや他の形式のフォーマットも存在)。

● 構成や関連付けを記述するようになっている

HyperText Markup Languageは、複数の文書 (テキスト) を相互に関連付けて結び付けます。その言葉の通り、ハイパー・テキストをマークアップ (目印を付ける) する言語です。図1に示すように、テキスト・ファイルに文章や画像を階層的にリンク構造で記述していきます。

簡単なHTMLの例をリスト1に示します。テキスト・ファイルに一目でわかりやすいタグを羅列することで、文書の構成や、他の文書や画像へのリンクが記述されています。

● インターネットにつながるにはHTMLで規定されたHTTPを使う

HTMLで規定されているデータ通信プロトコルHTTP (Hypertext Transfer Protocol) は、WebブラウザとWebサーバの間でHTMLなどのコンテンツの送受信に用いらま